



昭和5年 阪和電鉄全線開通時の案内

2021  
1.16 sat  
→ 3.28 sun

令和2年度 冬季企画展

阪和電鉄全通  
90周年

# 泉の軌跡

HANWA Electric railway  
90th anniversary

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日  
入館料 一般430円/65歳以上・高大生330円

- 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
- 20名以上の団体は団体割引料金

□ 主 催:大阪府立弥生文化博物館  
□ 後 援:泉大津市、泉大津市教育委員会、和泉市、和泉市教育委員会



大阪(天王寺)と和歌山の間を結ぶ現在の西日本旅客鉄道株式会社、阪和線(JR阪和線)の母体は、民間設立による「阪和電気鉄道株式会社」です。昭和4(1929)年に阪和天王寺駅から和泉府中駅まで開通し、翌年の昭和5(1930)年には、阪和東和歌山駅まで全線開通となりました。

しかし、先に大阪-和歌山間を南海鉄道株式会社が運行していたため、阪和電気鉄道は利用者を増やすよう、さまざまな取り組みをおこないました。まず、当時では異例ともいえるスピードアップへの努力です。やがて、乗り換えなしで鉄道省管轄の紀勢西線に乗り入れる南紀直通列車「黒潮号」の運行を開始します。また、沿線観光地の開発、さらに駅から最寄りの観光地までのアクセスをより良くする取り組みとして、乗合自動車(阪和バス)の運行も始めました。

事業が順調に進み始めた中でライバルの南海鉄道と合併、さらには国有化を経て、現在のJR阪和線につながります。

阪和電気鉄道全線開通90周年にあたる今年度、その歴史を巡る旅へみなさまをご案内します。



▲南紀直通列車 黒潮号 案内



▲阪和バス(阪和ニュース6号より抜粋)

## 講演会

- 時間: 午後2時から午後4時  
 □ 参加費: 無料(入館料は必要です)  
 □ 定員: 各回ともホール70名、サロンでのモニター中継30名の計100名  
 (往復はがき等による事前申し込み)

- 第1回** 2021年1月16日(土) 『阪和電気鉄道史』著者 竹田辰男氏  
**阪和電気鉄道の会社設立から本線全通まで**
- 第2回** 2021年2月13日(土) 当館副館長 秋山浩三  
**鉄道考古学の出発点—「新橋停車場」の発掘成果をふりかえりつづ—**
- 第3回** 2021年3月6日(土) 公益財団法人大阪府文化財センター 駒井正明  
**阪和電鉄の痕跡を探る**
- 第4回** 2021年3月27日(土)  
 当館学芸員 高瀬裕太・教育専門員 塩崎 亨・学芸スタッフ 幸山綾子  
**阪和電気鉄道による利用者誘致の取り組み  
 —イベント・アクセス・スピードの視点から—**

## 展示解説

1階ホールにて担当学芸員が展示の見どころを解説します。各回、午前・午後とも同内容です。

2021年1月30日(土)、2月20日(土)、3月13日(土)

- 時間: 午前11時から、午後2時からの2回(それぞれ50分程度、入退場自由)  
 □ 参加費: 無料(入館料は必要です)  
 □ 定員: 各回とも70名(10分前に開場、先着順)

## ミニギャラリー

**駅弁と旅のお伴—汽車土瓶からシンカンセンスゴイカタイアイスへ—**

2021年2月2日(火)~3月28日(日)

徒歩での旅から汽車の旅、そして新幹線へと移動時間が短くなる中、車内販売はなくなりつつあります。あらためて、旅の楽しみである駅弁・お茶の変化から鉄道の歴史を振り返ります。

## 入館時注意事項

- ※状況の変化により内容に変更が生ずることがあります。  
 変更があった場合、博物館ホームページでお知らせいたします。ご確認をお願いいたします。  
 ※来館時は必ずマスクを着用してください。  
 ※入館時に検温を求める場合がございます。  
 ※混雑を避けるため、入場制限をおこなう場合がございます。  
 ※当館の最新情報はホームページをご確認ください。

弥生博HP



JR阪和線「信太山」駅下車西へ約600m  
 南海本線「松ノ浜」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】  
 JR天王寺駅から和歌山方面(阪和線)快速電車にご乗車になり、鷹(おとり)駅で普通電車にお乗換えください。一部に、鳳駅まで快速。その後各駅にとまる「区間快速」もあり(わかしは時刻表をご確認ください)。大阪駅からお越しの場合は、「開空・紀州路快速」をご利用になると便利です。鷹から3駅目が信太山(しのだやま)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角  
 P普通車72台(無料)

## 第1部 阪和電鉄の歴史

はじめに

—阪和電鉄開通前夜—

### 1章 開通、そして全通

### 2章 阪和電鉄の軌跡



▲昭和4年 阪和電鉄開通時のリーフレット (左:オモテ面、右:ナカ面)



▲昭和8年 時刻表 (超特急45分)

### 3章 南海鉄道との合併

### 4章 国有化された旧阪和電鉄



▲昭和16年 沿線案内

おわりに

—名残と記憶から想起する阪和電鉄—

## 第2部 モノが語る阪和電鉄

黒潮号▶

ヘッドマーク(復元品)



## 講演会に伴う注意事項

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため以下の対策をおこないます。

- 往復はがき等による完全予約制とします。より多くの方にご参加いただくために各回別に個人ごとに募集します。
- 往復はがき往信に氏名、住所、電話番号、希望する講演会名を明記の上、返信にご自分の宛名をご記入ください。ご来館され、所定の用紙にご記入いただく方法もごございます。その場合、返信のはがきはご用意ください。ファックス・メールでの受付はいたしません。
- 返信はがきは各回の締め切り終了後に発送いたします。
- 講演会当日は返信はがきをお持ちください。
- 整理券配付は午後1時より、開場は午後1時30分からおこないます。

## 応募締め切り

- 第1回:1月5日(火)必着
- 第2回:1月30日(土)必着
- 第3回:2月20日(土)必着
- 第4回:3月13日(土)必着

- 応募が定員を超えた場合は抽選といたします。返信で結果をお知らせいたします。
- 混雑をさけるため、当日定員に余裕があった場合でも事前申し込みのない方は聴講できません。
- 参加にあたってはマスクのご持参、着用をお願いいたします。



串弥呼と出会う博物館

大阪府立弥生文化博物館  
 Museum of Yayoi Culture

指定管理者: 大阪府文化財センター・近鉄ビルサービスグループ  
 〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27  
 TEL.0725-46-2162 http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/